

<専任教員報告>

2014 年度教員活動報告

鈴木達治郎 (副センター長)

I. 教育

(1) 担当科目:「科学者の社会的責任」

「核不拡散と原子力平和利用」

(全学モジュールI「核兵器のない世界を目指して」) の一部分担

II. 研究

(1) 主要研究テーマ

- 原子力政策、核燃料サイクルと核不拡散問題
- 科学技術の社会的影響評価、科学者の社会的責任
- エネルギー・環境政策

(2) 著書・論文・学会誌寄稿等

- 「新たなプルトニウム「管理」政策で説明責任を果たせ」、エネルギーフォーラム、2014年6月号。pp.81-82.
- 「エネルギー基本計画について：変化の兆し」、原子力学会誌「アトムズ」、2014年7月号、Vol. 56, No. 7, pp.2-3.
- 「高レベル放射性廃棄物の最終処分への取り組みについて」、学術会議叢書21、「高レベル放射性廃棄物の最終処分について」、2014年11月、pp. 27-39.
- 「原子力政策とリスク：読めない未来に備えて」、エネルギー・資源、2015年2月号、Vol. 36, No.2, p.95-99.

(3) 学会発表

- 「対論！人類は原発をどうするのか」、対論へのコメント、日本生物地理学会、2014年4月12日。
- 「日本における原子力発電技術の歴史に関する調査専門委員会報告」、電気学会、技術発表会、2014年5月14日。
- 「核燃料サイクルの選択肢評価ー柔軟な燃料サイクル政策と直接処分ー」、原子力学会、秋の大会、2014年9月9日。
- 「福島原発事故の教訓と科学者の社会的責任：2015年パグウォッシュ会議に向けて」、物理学会第70回年次大会物理と社会シンポジウム、2015年3月22日

(4) その他

- “Regaining Trust and Building Confidence Towards a Comprehensive Nuclear Strategy,” The UK-Japan 21st Century Group, the 31st Annual

Conference, May 15-18, 2014, Hakone, Japan.

- 「原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティ問題」、トリウム熔融塩国際フォーラム・第14回研究会、2014年5月17日。
- 「日本の未来とエネルギー・環境政策の課題」、日本経済研究センター、第51回通常総会記念講演、2014年5月26日。
- 「原子力と社会-福島原発事故を受けて-」、アスペン研究所「科学・技術とヒューマニティ」セミナー、2014年5月30日。
- “Nuclear Power, Non-Proliferation and Social Responsibility of Scientists,” IAEA/University of Tokyo Seminar, June 23, 2014.
- 「原子力と社会-福島原発事故を受けて-」、大阪大学「科学技術と社会」講演会、2014年6月27日。
- “Regaining Public Trust after the Fukushima Nuclear Accident in Japan”, Pacific Energy Summit, Seoul, S. Korea, June 30-July 1, 2014.
- 「3.11以降の原子力国際情勢と日本の選択」、三菱商事講演会、2014年7月14日。
- “Nuclear Energy Policy Issues in Japan after the 3/11 Fukushima Nuclear Accident”, Australian National University workshop on Nuclear Power, August 12-14, 2014.
- “Nuclear Energy Policy Issues in Japan after the 3/11 Fukushima Nuclear Accident”, Center for Global Partnership, The Japan Travel Program for U.S. Future Leaders, August 18, 2014, Tokyo.
- 「3.11以後の原子力政策の課題と展望」、大阪ガス講演会、2014年9月8日。
- “Nuclear Energy Policy Issues in Japan after the 3/11 Fukushima Nuclear Accident”, Asia Leadership Fellow Program 2014, Nagasaki, September 24, 2014.
- 「3.11後の原子力：教訓と信頼回復に向けて」、シンポジウム「3.11後の原子力を考える—私たちはどこで、なぜ間違えたのか、これからどうすればよいのか?」、東京大学、2014年10月9日。
- “Science, Technology and Security- Issues on Plutonium –“, Policy Alternative Research Institute, The University of Tokyo, October 10, 2014.
- “Nuclear Fuel Cycle Policy Options after the Fukushima Accident.” The 14th PIIC Beijing Seminar on International Security: Strategic Stability and Cooperation, Hangzhou, China, October 19-22, 2014.
- “Nuclear Fuel Cycle Policy Options after the Fukushima Accident.” IISS/IFANS Workshop on Nuclear Power and Non-proliferation, Seoul, October 26, 2014.

- “Nuclear Technology and Society: Learning from the 3/11 Fukushima Accident,” the 11th Symposium of Germany-Japan Society for Integrated Science, Munich, Germany, November 27~28, 2014.
- 「都民よ、自民党政権よ、『福島を忘れるな』」、WebRonza, 2014年10月15日。
- 『『ゴジラ』と『GODZILLA』に見る核兵器観の日米の溝』、WebRonza, 2014年11月17日。
- 「理科教育改革への5つの提言」、WebRonza, 2014年12月1日。
- 「今回の選挙で原子力政策は決まらない：国民的議論を続けよう」、ポリタス、2014年12月7日。
- 「ドイツの『脱原発』は揺るがない」、WebRonza, 2014年12月11日。
- Expert Panel, Nuclear Threat Initiative, Security Index Project meeting, London, December 8~9, 2014.
- 「原子力小委の中間整理は『願望リスト』に過ぎない」、WebRonza, 2015年1月16日。
- 「原子力と社会、福島原発事故を受けて」、第2回仙台フォーラム、「持続可能社会の構築と安心・安全」、仙台、2015年1月24日。
- 「科学技術の軍事転用問題を考える」、WebRonza, 2015年2月27日。
- 「今年11月に長崎でパグウォッシュ会議」、WebRonza, 2015年3月26日。

III. 地域貢献

(1) 地域活動

- 「核兵器と原子力について」、平和案内人勉強会、2014年7月19日。
- 「世界の非核化と北東アジア・日本の役割」、国際シンポジウム「信頼醸成から核廃絶へ—2015年NPT再検討会議に向けて」、広島市立大学・中国新聞社・RECNA共催、2014年8月2日。
- 「核廃絶とパグウォッシュ会議—科学者の社会的責任を考える—」、創価学会平和学講座（長崎支部）、2014年8月3日。
- 「核廃絶、北東アジア非核化とパグウォッシュ会議」、公明党核廃絶推進委員会、2014年8月6日。
- 「プルトニウムと核不拡散問題；日本の核燃料サイクルは変わるか？」、被爆69周年原水爆禁止世界大会、広島大会、2014年8月5日。長崎大会、2014年8月8日。
- “Nuclear Weapon Free World and Northeast Asia - Nuclear Energy, Non-proliferation and Social Responsibility of Scientists”, UN Disarmament Fellowship, Nagasaki, RECNA, September 30, 2014.

- 「3.11 福島事故以後の原子力政策課題」、ロータリークラブ講演会、2015 年 1 月 15 日。

(2) 外部委員

- 日本経済研究センター 特任研究員。
- 東京大学政策ビジョン研究センター 客員教授。
- パグウォッシュ会議評議員。パグウォッシュ 2015 組織委員会委員長。
- 東京都再生可能エネルギー拡大委員会委員。
- 日本科学技術振興機構社会技術研究センター 運営評価委員会 (座長)。

IV. 校務分掌

- 教育研究評議会委員 (代理)